

平成28年度 国立吉備青少年自然の家教育事業

ウリソツクラブ ～ウーリークラブ卒業ファミリーの会～

1. 事業の目的（趣旨・ねらい）

ウーリークラブに参加した家族が、継続して「子育て」の情報交換を行ったり、体験活動を通じて交流し、自然への関心を高めたりする中で、主体的に企画・運営する意識を高める。

2. 事業の概要

- (1) 期日 第1回 5月 7日（土）～ 8日（日）1泊2日
Field Developed Program（ウリソツフィールド開墾プログラム）
7月 2日（土）～ 3日（火）1泊2日
第2回 9月10日（土）～11日（日）1泊2日
第3回 10月15日（土）～16日（日）1泊2日（自主企画）
第4回 11月26日（土）～27日（日）1泊2日
第5回 2月 4日（土）～ 5日（日）1泊2日（自主企画）

(2) 参加者

① 募集対象・人数

平成25年度・26年度・27年度のウーリークラブ参加家族 30家族

② 参加人数

登録人数	76人（19家族）
第1回	26人（9家族）
Field Developed Program	19人（7家族）
第2回	21人（7家族）
第3回	21人（7家族）
第4回	19人（7家族）
第5回	19人（7家族）

(3) 企画・運営のポイント

- ① 昨年度まで「自然農園」として使用していたフィールドを「ウリソツフィールド」として改変し、土地利用の方法からウリソツクラブのメンバーで決めてもらった。
- ② ネイチャーゲームなど自然と触れ合う機会を多く作り、自然への畏敬の念を持てるようにした。
- ③ 事業として3年目を迎え、自主企画委員も定着してきたことから、自主企画の部分の定着させるため「施設側で企画した回」と「コンセプトをもとに自主企画委員が2日間を企画・運営する回」とを設定した。

3. 活動の内容等

(1) 日程

第1回 5月7日(土)～8日(日)			
10:30	受付・おひさしぶりの会	6:30	起床・洗面・掃除
11:00	(大人) アイスブレイク	7:15	朝のつどい
	(子供) ネイチャーゲーム	7:30	朝食
12:00	昼食	9:00	(大人) ウリソツフィールド会議
13:00	(大人) アイスブレイク		(子供) ハイキング
	(子供) イカダ遊び	12:00	昼食
15:30	(子供) 野外調理	13:00	閉会式
17:30	夕食		
19:00	入浴		
20:30	情報交換会・就寝		

Field Developed Program 7月2日(土)～3日(日)			
13:00	受付	6:30	起床・洗面・掃除
14:00	川遊び	7:15	朝のつどい
16:00	着替え・休憩	7:30	朝食
17:30	夕べのつどい・夕食	9:00	ウリソツフィールド開発
18:30	入浴	12:00	退所
19:30	ミーティング・就寝		

第2回 9月10日(土)～11日(日)			
13:00	受付・お久しぶりの会	6:30	起床・洗面・掃除
13:30	食材O.L	7:15	朝のつどい
15:00	野外調理(ポークカレー)	7:30	朝食
19:00	移動	9:00	ウリソツフィールド
19:30	入浴		(テントサイト設置)
20:30	情報交換会・就寝	12:00	昼食
		13:00	閉会式
		13:30	自主企画会議(自主企画委員のみ)

第3回 10月15日(土)～16日(日) 自主企画①テーマ「危険予知と達成感」			
13:00	受付・おひさしぶりの会	7:00	起床・洗面・掃除
13:30	(子供) レクリエーション	7:45	朝のつどい
	(大人) ウリソツフィールド	8:00	朝食
	※植樹準備	9:00	(子供) お弁当づくり
15:00	果樹園に植樹		(大人) ウリソツフィールド
	(子供たちが植樹する)		※テントサイト設置
17:30	夕食	12:00	昼食(お弁当)
18:30	入浴	13:00	閉会式
20:30	情報交換会・就寝		

第4回 11月26日(土)～27日(日)			
13:00	受付・おひさしぶりの会	7:00	起床・洗面・掃除
13:30	(大人) 人間関係作り (子供) やきいも	7:45	朝のつどい
17:15	夕べのつどい	8:00	朝食
17:30	夕食	9:30	部屋の点検 (大人) 自主企画会議 (子供) カプラ
19:00	入浴	12:00	昼食
20:00	情報交換会・就寝	13:00	閉会式
		13:30	自主企画会議(自主企画委員)

第5回 2月4日(土)～5日(日)(自主企画②) テーマ「みんなの笑顔」			
13:00	受付・おひさしぶりの会	7:00	起床・洗面・掃除
13:30	(大人) ウーリークラブと交流会 (子供) 宝のことがば探し	7:45	朝のつどい
17:15	夕べのつどい	8:00	朝食
17:30	夕食	9:30	部屋の点検
19:00	入浴	10:00	ディキャンプ 焚火に当たりながらバーベキュー
20:00	情報交換会・就寝	14:00	ウーリークラブを招待 一緒にミネストローネを 飲みながら話そう。
		15:00	閉会式
		16:00	解散

(2) 活動の状況



【アイスブレイク 5/7】



【ネイチャーゲーム 5/7】



【ウリソツフィールド会議 5/8】



【テントサイト防腐剤塗り 7/3】



【テントサイト設置 7/3】



【食材OL 9/10】



【食材OL 9/10】



【テントサイト設置 9/11】



【レクリエーション 10/15】



【植樹 10/15】



【感謝のお弁当づくり 10/16】



【感謝のお弁当 10/16】



【焼き芋 11/26】



【カプラ 11/27】



【アイスブレイク 2/4】

4. 成果・課題

(1) 満足度

満足：94%

(2) 参加者の声

- ① 自主企画者は大変負担が多いと聞きましたが、今回の話でみんなで作りあげていける方向に進められるとよいかと思いました。長く続けられる会になればと思います。
- ② プログラムが変わっても対応がよかったので満足でした。
- ③ 気軽に参加出来たり、ガッツリかかわったり、いろんな人がいてもいい感じがいいですね。
- ④ 交流をもてたウーリークラブの人たちとさらなるつながりを期待しています。
- ⑤ 自主企画について

子ども同士でまとまりができたように思えます。集合するときに、子どもたちの中から右手を挙げて先頭アピールする子がいて、積極的なタイプではないと思っていたけれど、大人から指示されたわけではないのに、自分の役割を考えて実行する姿に成長を感じました。お弁当作りはとても時間がかかりました

が、子どもたちの嬉しそうな姿を見て、楽しい時間を過ごしたんだなと親も嬉しく思いました。今回のウリソツでは、下の子とうまく遊べることができなかったお友達ととても仲良しになっていたのも、子どもレクの成果が現れたのだと感じました。

(3) 成果

① 参加者のニーズをとらえ、それに合わせてプログラムを提供

年度初めから保護者の気持ちが「親子別プログラム」に向いていた。参加保護者は子どもたち同士のコミュニティーの中で成長してほしいという思いを共通認識した。同時に親も楽しみ、それを子どもたちに見せることで、自然体験の楽しさや人と関わることの楽しさを知ってほしいという思いがあり、それを意識して内容を吟味することができた。

② 保護者と子どもそれぞれの人間関係の深化

大人は人間関係をより深め、子育てに対するお互いの思いを共有し、さらに意見を戦わせることができる関係にまで深めることができた。

子供たちは、自分の繋がれる子どもとしか関われなかった関係から、異性や異年齢に関わらず思いを発信・共有できるようになった。

親子事業でありながら食事の時間は子どもたちだけで食事をとるなど、独自のコミュニティーを主体的に構築し、そこに子どもたちにとって楽しい空間になっていることがうかがえた。

③ 参加者の視点が「ウリソツクラブ自体の運営」に移行

新しいメンバーの獲得について、ウリソツフィールドの有効活用について、自主運営のための費用についてなど、ウリソツクラブの将来を考える参加者が出てきた。また、ウリソツクラブの入り口となるウーリークラブについても、将来的には自主運営を行い、参加者を募っていく話を保護者同士が行うようになった。

(4) 今後の課題

① ウリソツフィールドについて、日常的な除草作業等はスタッフが行っている。この負担を減らすためにも、改良が必要である。

② 自主運営の道が広がっていることはいいことだが、「教育」という枠を外さないよう、事業内容等をコーディネートしていく必要がある。

担当：企画指導専門職付主任 黒田 雅秀